

～船橋市デイサービス勉強会ミニミニ講座～

船橋市の新人口推計概要

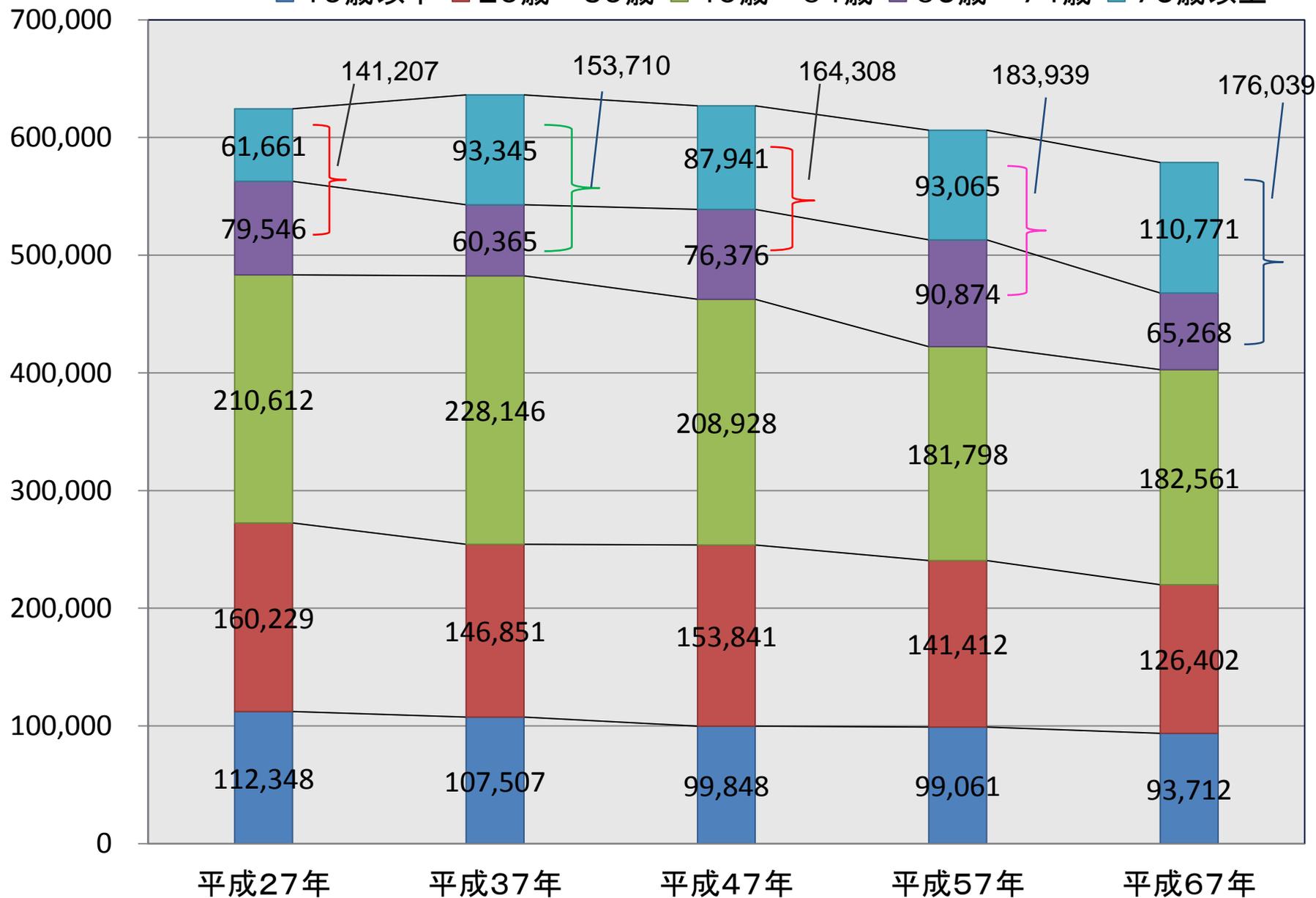
- 各日常生活圏域の状況

船橋在宅医療ひまわりネットワーク

- ひまわりネットワークの構成
- 各委員会活動の概要 など

船橋市の新人口推計(平成27年一平成67年)

■ 19歳以下 ■ 20歳～39歳 ■ 40歳～64歳 ■ 65歳～74歳 ■ 75歳以上



将来人口推計の元データ

	平成27年	平成37年	平成47年	平成57年	平成67年
19歳以下	112,348	107,507	99,848	99,061	93,712
20歳～39歳	160,229	146,851	153,841	141,412	126,402
40歳～64歳	210,612	228,146	208,928	181,798	182,561
65歳～74歳	79,546	60,365	76,376	90,874	65,268
75歳以上	61,661	93,345	87,941	93,065	110,771
合計	624,396	636,214	626,934	606,210	578,714

各年齢群の割合の推移(1%の動きで約6千人の増減)

	平成27年	平成37年	平成47年	平成57年	平成67年
19歳以下	18	17	16	16	16
20歳～39歳	26	23	25	23	22
40歳～64歳	34	36	33	30	32
65歳～74歳	13	9	12	15	11
75歳以上	10	15	14	15	19
合計	100	100	100	100	100

高齢化率

傾向



中部地区の状況（高齢者人口推計）

平成27年10月1日

平成37年4月1日(推計)

比較

	65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計
中部	12,474	8,365	2,358	23,197	中部	8,556	10,313	4,650	23,519	中部	▲ 3,918	1,948	2,292	322
夏見	3,124	1,923	611	5,658	夏見	2,428	2,590	1,084	6,102	夏見	▲ 696	667	473	444
高根 ・金杉	2,957	1,921	514	5,392	高根 ・金杉	1,908	2,366	993	5,267	高根 ・金杉	▲ 1,049	445	479	▲ 125
新高根 ・芝山	4,681	2,883	724	8,288	新高根 ・芝山	2,760	3,880	1,599	8,239	新高根 ・芝山	▲ 1,921	997	875	▲ 49
高根台	1,712	1,638	509	3,859	高根台	1,460	1,477	974	3,911	高根台	▲ 252	▲ 161	465	52

※27年は介護保険給付データ、37年は船橋市人口推計資料より

中部地区全体では、65歳以上高齢者の人口は322人増加する。

しかし、65～74歳の人口は、3,918人減少する。

(参考)市全体 65歳以上 10,513人増加 65歳～74歳 19,512人減少

東部地区の状況（高齢者人口推計）

平成27年10月1日

平成37年4月1日(推計)

比較

	65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計
東 部	20,949	13,504	3,946	38,399	東 部	16,738	17,326	7,903	41,967	東 部	▲ 4,211	3,822	3,957	3,568
三山・ 田喜野井	5,585	3,230	845	9,660	三山・ 田喜野井	3,749	4,572	1,866	10,187	三山・ 田喜野井	▲ 1,836	1,342	1,021	527
習志野台	5,557	4,176	1,222	10,955	習志野台	4,389	4,603	2,369	11,361	習志野台	▲ 1,168	427	1,147	406
前原	4,126	2,764	903	7,793	前原	3,613	3,484	1,720	8,817	前原	▲ 513	720	817	1,024
二宮・ 飯山満町	3,830	2,250	691	6,771	二宮・ 飯山満町	3,170	3,171	1,307	7,648	二宮・ 飯山満町	▲ 660	921	616	877
薬円台	1,851	1,084	285	3,220	薬円台	1,817	1,496	641	3,954	薬円台	▲ 34	412	356	734

※27年は介護保険給付データ、37年は船橋市人口推計資料より

東部地区全体では、65歳以上高齢者の人口は3,568人増加する。

しかし、65～74歳の人口は、4,211人減少する。

(参考)市全体 65歳以上 10,513人増加 65歳～74歳 19,512人減少

西部地区の状況（高齢者人口推計）

平成27年10月1日

平成37年4月1日(推計)

比較

	65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計
西部	16,156	8,762	2,804	27,722	西部	13,941	13,412	5,162	32,515	西部	▲ 2,215	4,650	2,358	4,793
葛飾	3,445	1,726	687	5,858	葛飾	3,238	2,868	1,173	7,279	葛飾	▲ 207	1,142	486	1,421
中山	1,990	1,183	401	3,574	中山	1,782	1,638	701	4,121	中山	▲ 208	455	300	547
塚田	4,734	2,355	702	7,791	塚田	4,413	4,058	1,380	9,851	塚田	▲ 321	1,703	678	2,060
法典	5,987	3,498	1,014	10,499	法典	4,508	4,848	1,908	11,264	法典	▲ 1,479	1,350	894	765

※27年は介護保険給付データ、37年は船橋市人口推計資料より

西部地区全体では、65歳以上高齢者の人口は4,793人増加する。

しかし、65～74歳の人口は、2,215人減少する。

(参考)市全体 65歳以上 10,513人増加 65歳～74歳 19,512人減少

南部地区の状況（高齢者人口推計）

平成27年10月1日

平成37年4月1日(推計)

比較

	65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計
南部	12,175	7,047	2,478	21,700	南部	10,116	9,583	3,761	23,460	南部	▲ 2,059	2,536	1,283	1,760
海神	3,478	2,057	780	6,315	海神	2,722	2,745	1,137	6,604	海神	▲ 756	688	357	289
宮本	4,016	2,283	856	7,155	宮本	3,464	3,151	1,213	7,828	宮本	▲ 552	868	357	673
本町	1,534	976	357	2,867	本町	1,377	1,279	564	3,220	本町	▲ 157	303	207	353
湊町	3,147	1,731	485	5,363	湊町	2,553	2,408	847	5,808	湊町	▲ 594	677	362	445

※27年は介護保険給付データ、37年は船橋市人口推計資料より

南部地区全体では、65歳以上高齢者の人口は1,760人増加する。

しかし、65～74歳の人口は、2,059人減少する。

(参考)市全体 65歳以上 10,513人増加 65歳～74歳 19,512人減少

北部地区の状況（高齢者人口推計）

平成27年10月1日

平成37年4月1日(推計)

比較

	65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計		65～ 74歳	75～ 84歳	85歳 ～	合計
北部	18,065	10,842	2,796	31,703	北部	11,014	15,114	6,121	32,249	北部	▲ 7,051	4,272	3,325	546
三咲	2,303	1,308	358	3,969	三咲	1,584	1,912	734	4,230	三咲	▲ 719	604	376	261
松が丘	2,576	1,920	456	4,952	松が丘	1,359	2,154	1,133	4,646	松が丘	▲ 1,217	234	677	▲ 306
大穴	3,026	1,899	398	5,323	大穴	1,427	2,569	992	4,988	大穴	▲ 1,599	670	594	▲ 335
坪井	1,009	582	128	1,719	坪井	687	821	326	1,834	坪井	▲ 322	239	198	115
二和	2,193	1,265	380	3,838	二和	1,631	1,853	722	4,206	二和	▲ 562	588	342	368
八木が谷	4,843	2,596	613	8,052	八木が谷	2,940	3,887	1,370	8,197	八木が谷	▲ 1,903	1,291	757	145
豊富	2,115	1,272	463	3,850	豊富	1,386	1,918	844	4,148	豊富	▲ 729	646	381	298

※27年は介護保険給付データ、37年は船橋市人口推計資料より

北部地区全体では、65歳以上高齢者の人口は546人増加する。

しかし、65～74歳の人口は、7,051人減少する。

(参考)市全体 65歳以上 10,513人増加 65歳～74歳 19,512人減少

船橋在宅医療ひまわりネットワークの構成

船橋在宅医療ひまわりネットワーク <任意団体>

代表

副代表

役員会

(代表及び企画委員 (全団体会員の代表))

- 在宅医療の推進に関する情報収集・研究・企画・立案・評価・改善
- 関係他団体との連携
- 課題等解決検討会の企画
- 人材育成研修の企画
- 在宅医療フォーラムの企画
- 在宅医療支援拠点事業への助言 等

委員会

(実施する事業ごとに設置)

事務局

- 管理・運営事務
- 役員会・委員会における活動の補佐

会員

船橋市医師会 船橋歯科医師会 船橋薬剤師会 千葉県看護協会 千葉県理学療法士会
千葉県作業療法士会 千葉県言語聴覚士会 千葉県歯科衛生士会 船橋市介護支援専門員協議会
船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会 船橋市訪問看護ステーション連絡会
船橋市訪問介護事業者連絡会 千葉県在宅サービス事業者協議会 船橋市栄養士会
船橋市介護老人保健施設協会 船橋市老人福祉施設協議会 船橋市認知症高齢者グループホーム連絡会
NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア 船橋市 (個人) 他

連携団体

船橋市認知症ネットワーク研究会
船橋市地域リハ研究会
船橋南部在宅療養研究会 他

活動の支援

在宅医療を推進するための
ネットワークづくり

データベースの形態 についての助言

在宅医療・介護情報の
データベース管理

業務内容 についての助言

在宅医療に関する
市民への相談支援
(サロン事業)

在宅医療支援拠点<船橋市が設置 (平成27年10月:保健福祉センター内)>

ひまわりネットワークの委員会活動

①顔の見える 連携づくり委員会

- 顔の見える関係づくり
- 地域医療・介護連携の心得づくり
 - ・入退院支援
 - ・在宅療養支援
 - ・急変時対応
 - ・看取り
 - ・他

②人材育成委員会

- 専門職向け研修会等の開催
- 顔の見える関係づくり
- 研修の体系づくり

③安心の確保委員会

- 在宅医療・介護の提供体制のあり方
 - ・ICTネットワークの活用・普及
 - ・24時間対応体制における安心の確保についての検討
- 市民への啓発

④資源情報管理委員会

- 収集する資源情報のあり方
- 在宅医療提供機関マップの作成
- ホームページの管理・更新
- 入会審査

入退院時の心得づくりから

方針

入退院時の支援の心得を基盤として

地域医療・介護連携の充実を図る

活動の方向性

- ① ケアマネジャーが介在する入退院時の支援のきまりごとを「基本的心得」として策定・運用
- ② 運用の過程において評価・改善を重ねる中で、地域医療・介護連携の充実に必要な要素を「基本的心得」に追加するとともに、必要に応じて新たな心得を策定
- ③ 地域医療・介護連携の充実に必要な要素は、患者の生活に合わせ、「入退院支援」「日常療養の支援」「急変時の対応」「看取り」等の視点から検討

新たな研修体系（案）

在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系スキーム

【46構在宅医療ひまわりネットワーク】
（H28.O.O作成）

【目的】 多職種間のスムーズな連携により、本人のその人らしさを支える支援を行うことができるようになる。

【目標】

スキルアップ

- 在宅医療・介護に関する知識を、体系的に習得する。
- 職種を超えた共通理解を形成し、多職種による連携の重要性を学ぶ。
- 全ての領域に共通して、その人らしさを支える視点を習得する。

すそのを広げる

- 在宅医療・介護に関わる人材だけでなく、関われる人材を増やす。
- 全ての医療・介護関係者が、抵抗なく在宅医療・介護に携われる。
- 在宅医療・介護に関わる関係者が、顔の見えるネットワークを構築する。

【ひまわりマスター授与】
研修領域ごとの研修を全て修了した方に修了証（ひまわりマスター）を授与する。

【ひまわり実践研修】

他の職種の役割と自らの役割とをふまえた、多職種による連携を実践的に学ぶ。

選択して受講することが可能

【ひまわりスタートアップ研修】

在宅医療・介護に関する基本的な事項を学び、連携に必要な基礎知識を習得する。

研修領域

がん緩和ケア

看取り、人間の尊厳、意思決定支援、死生観なども含めて

認知症

BPSD や服薬、市の施策なども含めて

連携の視点

他の職種との連携の取り方や ICF・ACP などの考え方も含めて

リハビリテーション

脳卒中、身体障害者なども含めて

高齢者特性

その他

難病・小児や人間の尊厳、虐待なども含めて

各研修（研修領域ごと）の修了時に、ひまわりポイントを取得

各団体にて、各職能別・施設種別に必要な基礎知識を習得できる研修会を実施するとともに、新規層に対しての参加の働きかけを行う。

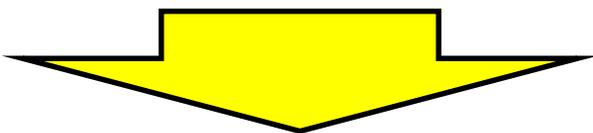
在宅医療・介護に対する安心の確保

医療・介護関係者 (地域のサービス提供者)

- 患者の容態が増悪し、病院での対応が必要となった場合における確実な支援

本人やその家族

- 患者の状況により、24時間の対応体制が整った環境
- 在宅医療・介護に関する理解



- ① 実態調査を踏まえ、24時間対応体制における安心の確保についての検討
- ② ICTを活用した患者情報共有システムの効果的な活用のための検討
- ③ 在宅医療・介護を啓発するための市民向け講演会等の開催

ホームページの開設

みなさまの安心な生活を実現するために

船橋在宅医療ひまわりネットワーク



すべてのお知らせ	一般の方へお知らせ	ひまわりネットからのお知らせ	イベント・講演研究会・勉強会など	会員からののお知らせ
2016年2月20日	第13回船橋市地域リハビリテーション研究会(船橋市)	第13回船橋市地域リハビリテーション研究会(船橋市)	船橋市(地域リハビリテーション拠点事業)	
2016年2月15日	平成27年度第4回ひまわりネットワーク人材育成委員会	ひまわりネットワーク事務局		
2016年2月14日	第7回千葉県脳卒中連携の会	千葉県・千葉県医師会		
2016年2月6日	第5回人材育成研究会 認知症多職種連携研究(基研編)	船橋在宅医療ひまわりネットワーク		
2016年2月4日	第7回朝食栄養サポート勉強会	船橋市(地域リハビリテーション拠点事業)		
2016年1月31日	一般公開セミナー	千葉県理学療法士会 福祉部		
2016年1月28日	第2回 口腔ケア向上研修のご案内～口腔ケアを多職種連携の会各属にて～	船橋市		

2016年1月						
12月						
月	火	水	木	金	土	日
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局
〒273-8501 千葉県船橋市湊町2-10-25(船橋市役所 保健政策課 地域医療ケアシステム推進室内)
電話: 047(436)2354 【直通】 FAX: 047(436)2409
リンクフリー プライバシーポリシー サイトマップ
許可のない複製・改変、写真・イラスト等の無断転写・転載はご遠慮ください。
Copyright © 2016 船橋在宅医療ひまわりネットワーク Allrights Reserved.

<http://himawarinet.jp>
是非ご覧ください!

ひまわりネットワークの活動だけでなく、会員団体等の情報についても掲載している。

また、個人会員への入会についても案内している。

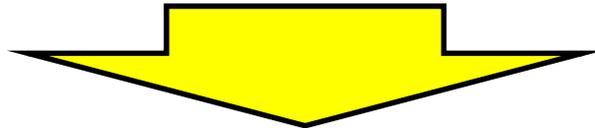
ひまわりネットワークの成果及び課題

成果

- 医療・介護関係者間の顔の見えるネットワークの構築
- 医療・介護連携における入退院時の決まりごと（心得）の策定
- 基礎的な研修の実施により、在宅医療・介護に携わる新たな人材の確保及び技能の向上
- 市民への在宅医療に関する啓発
- 在宅医療に関するマップの作成により、資源情報の見える化

課題

- 企画・運営に携わる役員等の負担が大きい
- ひまわりネットワークを通して専門職が精力的に活動しており、安心して在宅での生活が送れることを市民に周知できていない
- 役員等は各職能及び施設種別の団体の推薦を受けた者のみなので、団体に加入していない専門職まで広がっていない



今後は、在宅医療支援拠点と連携・協力し、さらに活動を市全域に広めていく。

ひまわりネットワークへの行政からの支援

① 交付金（2,000,000円）の交付

市から交付金の交付を受けることにより、
会費を取らずに活動が出来る。

② 事務局業務を担う

- ・ 役員及び委員会の次第、当日資料、議事録の作成
- ・ 講演会及び研修会の準備、運営
（会場確保、講師依頼、周知、申込受付、
当日資料準備、会場設営、当日の運営等）
- ・ 「在宅医療・緩和ケア提供機関マップ」作成に係る調査
の実施及びマップの作成
- ・ ホームページの更新及び改修
- ・ その他、各役員への連絡調整等

③ 他の団体等との連絡調整